

見えたWセンバツ

白鷗足利

高校野球 関東4強



準決勝進出を決め、応援席にあいさつする白鷗足利ナイン。ひたちなか市民球場

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号 〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

○下野新聞社2013

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売部 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業・教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは

☎ダイヤル 0120-810081

電子号外

フリーダイヤル

0120-810081

下野新聞購読お申し込みは

携帯、スマホで栃木のニュースを!!

下野新聞 SOON 月額262円

下野新聞 検索

白鷗足利	0	1	1	0	0	1	0	0	0	= 3
習志野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	= 1
横浜	0	0	1	1	0	0	0	0	1	= 3
佐野日大	5	0	0	0	0	0	0	0	×	= 5

佐野日大も

第66回秋季関東地区高校野球大会第3日は29日、茨城県の水戸市民球場ほかで準決勝を行った。本県1位代表の佐野日大は横浜(神奈川1位)に5-3で、同2位の白鷗足利は習志野(千葉1位)に3-1でそれぞれ快勝し、来春のセンバツ甲子園出場が濃厚とされる4強入りを果たした。

◇ ◇

佐野日大は一回、1死満塁から5番・柿沢郁也の左前適時打で2点。さらに7番・稲葉恒成の左越え3点本塁打も飛び出して大量5点を奪い、主導権を握った。エース左腕・田嶋大樹は、横浜の強力打線の前に三、四回にそれぞれ1失点。しかし走者を許しても粘り強くしのぎ、最終回の相手の反撃も1点に抑えた。

白鷗足利は1点を先制されて迎えた二回、小川真希の中前適時打ですぐさま同点。続く三回には2死から周東貴人が中前打で出塁すると、3連続四死球で逆転した。六回には小野寺祐哉の左中間適時二塁打で貴重な1点を追加。先発した比嘉新は尻上がりに調子を上げ、被安打7、1失点で完投した。

春の甲子園には例年、関東から4、5校を選出。今後の大会の行方や他地区の動向にもよるが、2校ともセンバツ出場に大きく前進した。県勢がセンバツに出場すれば3年連続となる。

準決勝は30日、ひたちなか市民球場で行われ、白鷗足利は午前10時から、健大高崎(群馬1位)―山梨学院(山梨1位)の勝者と対戦。佐野日大は午後零時30分から桐生一(群馬2位)―霞ヶ浦(茨城1位)の勝者と顔を合わせる。